

広報

輝く伊万里を創る『3つの元気』

人が元気！

産業が元気！

地域が元気！

伊万里

平成22年度 予算特集号



伊万里の子キッズスポーツフェスティバル (3月21日：国見台陸上競技場)

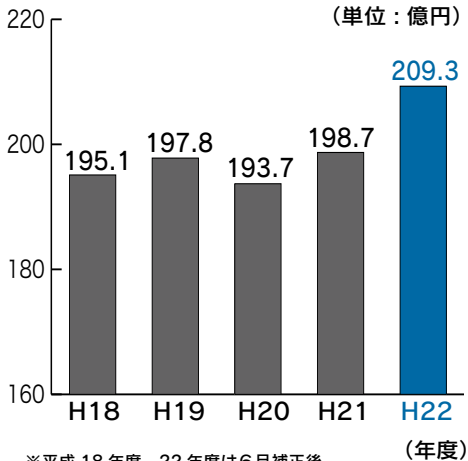
平成 22 年度

6月補正後予算総額

209億2792万円

一般会計

一般会計予算額の年度別推移



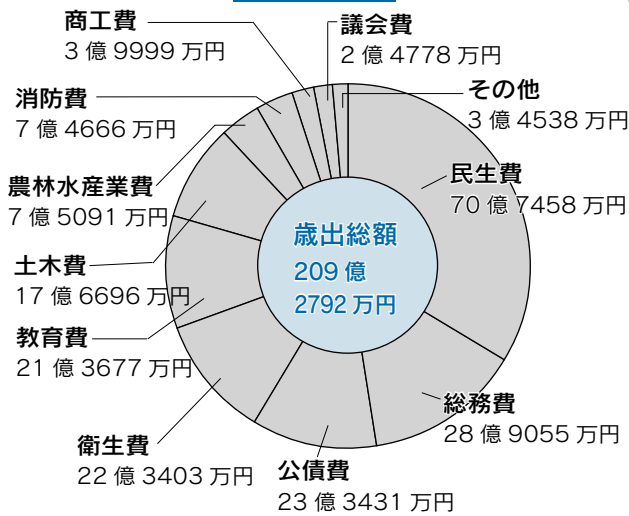
※平成 18 年度、22 年度は 6 月補正後

今年度は市長改選の年に当たり、当初予算は義務的経費や経常的経費などを中心にした言わば骨格予算でした。今回の補正予算で投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行ったところです。

平成 22 年度 6 月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で 209 億 2792 万円となっています。これは、子ども手当の創設などに伴い予算規模が大きくなっているもので、平成 21 年度の同期（6 月補正後）と比較すると 2.1 割の増加となりました。

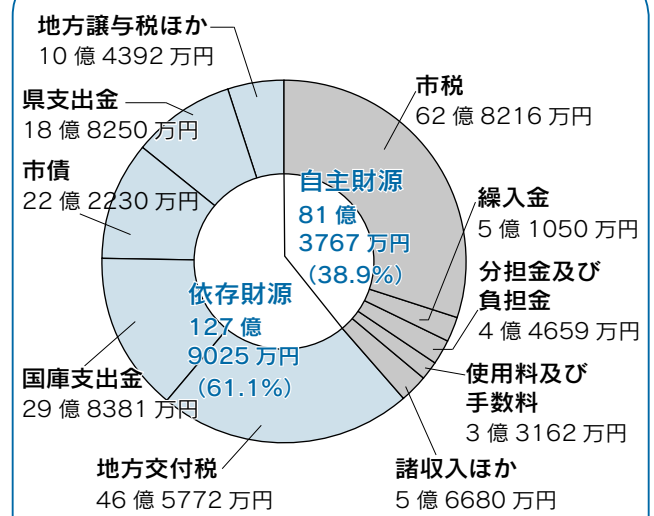
厳しい財政状況の中で、事業の重要性、緊急度を考慮し、財源の重点的、効率的運用を図り、予算編成を行いました。その概要は次のとおりです。

歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 農林水産業費………農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 分担金・負担金………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成22年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、161億1016万円となっています。

■ **国民健康保険特別会計**
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

給付を行うための会計です

■ **介護保険特別会計**

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

■ **立花台地開発事業特別会計**

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

■ **公共下水道事業特別会計**

快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

■ **農業集落排水事業特別会計**

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

■ **市営駐車場特別会計**

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便性の向上を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

■ **老人保健特別会計**

75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

■ **後期高齢者医療特別会計**

『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域

■ **企業会計**
連合へ納付する会計です

企業会計

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

■ **水道事業特別会計**

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

■ **工業用水道事業特別会計**

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

■ **病院事業特別会計**

市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

3のとおりです。市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	71億5,326万円
介護保険	50億9,846万円
立花台地開発事業	2億1,846万円
公共下水道事業	22億4,598万円
農業集落排水事業	1億5,836万円
市営駐車場	1,272万円
老人保健	177万円
後期高齢者医療	12億2,115万円

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億3,972万円	10億8,562万円	11億8,875万円
	支出	13億3,972万円	10億8,562万円	11億8,875万円
資本的収支	収入	6億4,011万円	2億1,258万円	9,273万円
	支出	21億8,069万円	4億766万円	1億1,446万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	209億5,494万円	
特別会計	公共下水道事業	144億2,981万円
	農業集落排水事業	13億5,807万円
計	367億4,282万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	50億3,770万円
	工業用水道事業	157億1,486万円
	病院事業	2億3,990万円
計	209億9,246万円	

※平成22年5月31日現在の金額です

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

人が元気！

産業が元気！

地域が元気！なまちづくり



議場で所信表明を行う塚部市長

平成 22 年 第 2 回定例会 所信表明

平成 22 年第 2 回定例会（6 月議会）で、塚部市長が平成 22 年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

私は、先の市長選挙におきまして、市民の皆さんの温かいご支持により 3 期目の市政運営について負託をいただきましたことは、この上なく光栄に思いますとともに、今回の選挙に際し、市内各地において多くの皆さんのまちづくりに対するさまざまな想いに触れ、市長としての使命と責任の重さを改めて痛感し、まさに身の引き締まる思いです。

伊万里市長

塚部 芳和

Yoshikazu Tsukabe

市民福祉の向上と

地域の発展に全力投球します

はじめに

私は、美しい自然に抱かれ、素晴らしい歴史を刻んできたふるさと伊万里を真に豊かで自立した地域社会へとさらに高めていくため、まずは、市政運営の原点に立ち返り、今日まで市民の皆さんと築きあげてきた信頼関係のもと、『和の心』をもって、市民福祉のさらなる向上と地域の発展に全力を傾注していきます。

市政を取り巻く情勢

わが国の経済情勢は、一昨年来の世界的な金融危機の中で取り組まれた積極的な景気対策により回復基調にあるものの、ユーロ圏における財政金融問題の影響など、依然として先行きは予断を許さない状況にあります。

また、国政における政権交代に伴い、制度などの抜本的な見直しが進められるとともに、子育てや雇用など国民の生活支援に予算が重点配分される一方、公共事業が抑制され、社会基盤の整備が遅れている地方においては、地域経済への影響が懸念される所です。

国と地方の関係においても、地域主権の考えのもとで、従来の補助金制度から地方に裁量を与える一括交付金へと転換される方向にあるなど、住民に身近なサービスを提供する地方自治体の役割は一層重要となつていきます。

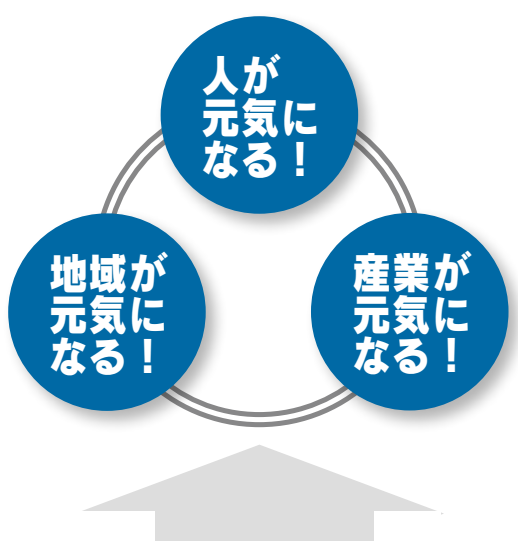
さらに、これまでの三位一体改革の影響や景気の後退に伴う自主財源の大幅な落ち込みにより、地方自治体の財政状況は一層厳しさを増しています。

このため、私は、固定観念にとらわれることなく、強い変革の意志をもって市政運営に取り組み、着実な行政改革の推進により財政の健全化を図り、自立した自治体経営の確立をめざします。

また、限られた財源の中で、市民のライフスタイルの変化や少子高齢化の進展などに機敏に対応した政策の展開により、市民の皆さんの満足度の向上に努めます。

こうした将来の姿を見据えた堅実な行財政運営を市政運営の基本とし、職員の政策形成能力のさらなる向上と政策官庁としての機能

さらなる伊万里の元気をめざして



第5次伊万里市総合計画
5つのまちづくりの目標

- 安心で健やかな暮らしづくり P6~7
- 創造的で心豊かなひとづくり P8~9
- 活気あふれる産業づくり P10~12
- 安全で快適な地域づくり P13~14
- 自立と協働のまちづくり P15

の強化に努め、人が元氣、産業が元氣、そして地域が元氣なまちづくりに邁進していきます。

主要な施策

以上が、私の市政運営に関する基本的な考えですが、今回のマニフェストに掲げた事業などにつきましては、これからの市政運営において第5次伊万里市総合計画の実施計画に位置付け、着実に推進していく考えです。

次のページからは、市政の主要施策などについて、総合計画の『5つのまちづくりの目標』に沿って説明します。

今後の伊万里づくりの基盤となる

大型プロジェクトの推進

▼伊万里有田地区統合病院

県西部保健医療圏における中核的役割を担う新統合病院については、本体建設に着工することから、平成23年12月の開院をめざし、有田町とともに事業を推進します。

▼西九州自動車道

西九州自動車道の整備については、昨年末に唐津道路が全線開通したことから、唐津伊万里道路の事業の促進について関係機関への働きかけをさらに強化し、福岡都市圏との時間距離の短縮により、本市産業の活性化と交流人口の拡大につなげていきます。

▼伊万里港水深13m岸壁

七ツ島地区において、大型コンテナ船舶への対応として水深13メートル岸壁の整備が進むとともに、昨年は念願の臨港道路七ツ島線についても事業化されたことから、伊万里港全体のさらなる物流機能の向上をめざし、事業促進に努めます。

▼広域ゴミ処理施設

県西部地区4市5町で整備を進めている広域ごみ処理施設については、大気質や水質などに関する環境影響評価を実施するほか、造成工事の用地測量などに取り組みます。

▼浦ノ崎失効地
(川南造船所跡地)対策

浦ノ崎地区における埋立免許失効地については、長年の懸案でしたが、国をはじめ県や関係者との協議により、ようやく解決への糸口を見出すことができましたので、まずは土砂の法的整理による土地化に向けた取り組みを進めます。

▼井手口川ダム

井手口川ダムについては、平成23年度の完成に向け順調に建設が進められていることから、上水道の第9次拡張事業として引き続き浄水施設の整備を行うほか、関係機関などとの連携によりダム周辺の環境整備に取り組んでいきます。

※3月の提案理由説明より